

## 「第3期道の事務・事業に関する実行計画」の平成27年度実績について

道では、道が自ら排出する温室効果ガスの抑制と、道民や事業者の取組の促進を目的に「地球温暖化対策の推進に関する法律（平成10年法律第117号）」に基づき、「第3期道の事務・事業に関する実行計画（計画期間：平成23年度～27年度）」を策定し、道自らが排出する温室効果ガス排出量を平成21年度の排出量に比べ11%削減することを目標に取組を進めてきました。

この計画の最終年度となる平成27年度の「道の事務・事業に伴う温室効果ガス排出量」は次のとおりです。

### 1 削減目標の達成状況

単位：t-CO<sub>2</sub>

第3期実行計画			平成27年度実績	
基準年度（平成21年度）排出量（A）	271,200	排出量（B）	240,719	
削減目標	削減量	▲ 30,000	削減量（B-A）	▲ 30,465
	削減率	▲ 11.0%	削減率（（B-A）/A）	▲ 11.2%
目標年度（平成27年度）排出量	241,200			

平成27年度の排出量は240,719 t-CO<sub>2</sub>で、基準年度に比べ30,465 t-CO<sub>2</sub>（11.2%）の削減となり、第3期実行計画に基づく削減目標を達成しました。

### 2 温室効果ガス排出状況

#### （1）温室効果ガス・燃料等区分ごとの排出量

単位：t-CO<sub>2</sub>

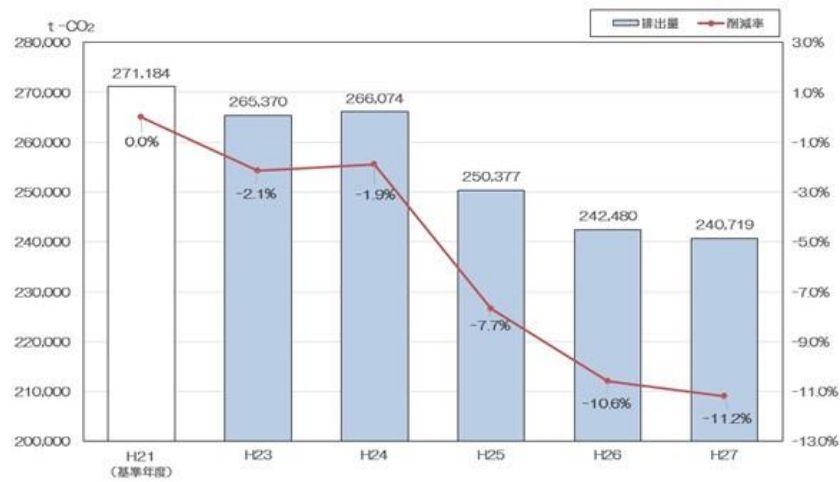
区 分	基準年度 （平成21年度） 排出量 A	削減目標 B		平成25年度実績 排出量	平成26年度実績 排出量	平成27年度実績			達成状況 B-D	
		削減量	削減率 （%）			排出量 C	削減量 （C-A）	削減率 （%） D:（C-A）/A		
二酸化炭素 （CO <sub>2</sub> ）	重油	85,876	▲9,700	▲ 11.3%	74,068	71,674	71,673	▲ 14,203	▲ 16.5%	5.2%
	電気	124,066	▲14,000	▲ 11.3%	118,410	112,969	111,149	▲ 12,917	▲ 10.4%	▲ 0.9%
	熱供給	4,378	▲400	▲ 9.1%	3,991	3,479	3,509	▲ 869	▲ 19.8%	10.7%
	ガソリン	18,299	▲1,900	▲ 10.4%	17,789	17,125	16,466	▲ 1,833	▲ 10.0%	▲ 0.4%
		軽油	10,108	▲1,000	▲ 9.9%	10,761	12,896	12,671	2,563	25.4%
	小計	28,407			28,550	30,020	29,137	730	2.6%	
	灯油	15,822	▲1,800	▲ 11.4%	14,546	13,599	14,258	▲ 1,564	▲ 9.9%	▲ 1.5%
	その他の燃料（ガス等）	10,448	▲1,200	▲ 11.5%	8,800	8,566	8,903	▲ 1,545	▲ 14.8%	3.3%
計 ①	268,996	▲30,000	▲ 11.0%	248,366	240,308	238,628	▲ 30,368	▲ 11.3%	0.3%	
その他のガス	メタン（CH <sub>4</sub> ）	821			858	857	854	33	4.0%	
	一酸化二窒素（N <sub>2</sub> O）	1,238			1,054	1,229	1,140	▲ 98	▲ 7.9%	
	ハイドロフルオロカーボン（HFC）	130			75	86	98	▲ 32	▲ 24.9%	
	パーフルオロカーボン（PFC）	-			-	-	-	-	-	
	六ふっ化硫黄（SF <sub>6</sub> ）	-			24	-	-	-	-	
	計 ②	2,189			2,011	2,173	2,092	▲ 97	▲ 4.5%	
合計 ①+②	271,184	▲30,000	▲ 11.0%	250,377	242,480	240,719	▲ 30,465	▲ 11.2%	0.2%	

※ 毎年度の温室効果ガス排出量の把握にあたっては、基準年度に用いた排出係数により算出しています。

※ 端数処理の関係上、内訳と合計の数値が一致しない場合があります。

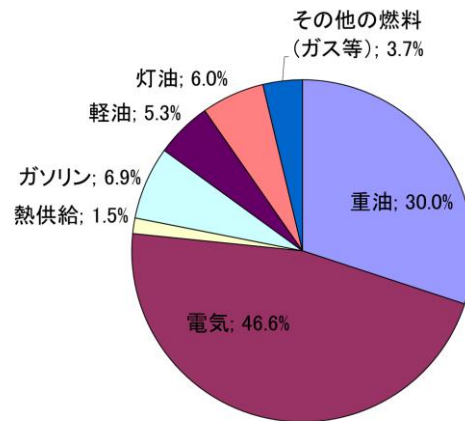
- 区分ごとの削減量では、電気、ガソリン・軽油、灯油は目標に到達せず、特に軽油は基準年度排出量を上回りましたが、重油の削減量が多いこと等から、全体としての目標は達成しました。
- 二酸化炭素の排出量は238,628 t-CO<sub>2</sub>で、基準年度に比べて30,368 t-CO<sub>2</sub>（11.3%）の削減、前年度に比べて1,680 t-CO<sub>2</sub>（0.7%）の削減となりました。
- 二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量は2,092 t-CO<sub>2</sub>で、基準年度に比べて97 t-CO<sub>2</sub>（4.5%）の削減、前年度に比べて81 t-CO<sub>2</sub>（3.7%）の削減となりました。ガス別に基準年度と比べると、一酸化二窒素は98 t-CO<sub>2</sub>（7.9%）、ハイドロフルオロカーボンは32 t-CO<sub>2</sub>（24.9%）の削減となり、メタンは33 t-CO<sub>2</sub>（4.0%）の増加となりました。
- 二酸化炭素が全体の99.1%を占め、メタン等その他のガスが0.9%となっています。

## (2) 温室効果ガス排出量と削減率の推移



平成 24 年度に僅かに増加しましたが、年々削減が進み削減目標 (11.0%) を達成しました。

## (3) 二酸化炭素排出量の燃料別構成割合



燃料別の二酸化炭素排出量は、電気の使用に伴う排出量が 46.6% とおよそ半分を占め、続いて重油が 30.0%、ガソリンが 6.9%、灯油が 6.0% の順となっています。

## 3 実行計画に基づく取組

- 夏季 (6 月～9 月) の執務室における軽装 (クールビズ)、暖房期間 (11 月～4 月) の働きやすく暖かい服装 (ウォームビズ) での執務の呼びかけを行いました。
- 平成 27 年度は、節電要請等の政府の電力需給対策を踏まえ、道も電力使用者の一人として節電の「集中対策」に取り組みました。また、知事メッセージの発出やポスターの掲示、リーフレットの配布等により、道民や事業者に対して、省エネや節電の取組について呼びかけを行いました。
- この「集中対策」期間以外も「北海道省エネルギー・新エネルギー促進条例」や「事務改善に関するガイドライン」に基づき、継続して省エネ、節電に取り組みました。

## 4 今後の取組

第 3 期実行計画では全体としての目標は達成しましたが、電気、ガソリン・軽油、灯油は区分ごとの目標に到達しなかったため、さらなる省エネの取組を進めていく必要があります。第 4 期実行計画 (計画期間：平成 28 年度～32 年度) の目標達成に向け、照明等の高効率化・LED 化や照明時間の短縮、庁舎内における冷暖房の設定温度の厳格な管理 (冷房は 28℃、暖房は 20℃以下に設定) 低公害車の導入など、一層の排出削減に取り組んでいきます。